

イスノキ（稚樹）

[木本] 《嗜好》



葉の表面は光沢がある。



葉を密に付ける。



樹皮は灰褐色。

区別のポイント

葉は互生の全縁で革質。虫えい（虫こぶ）のできていることが多い。樹皮は灰褐色で、老木ではまばらに剥がれる。

形態 常緑高木。高さ 20m。

分布 本州（静岡県以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 日本神話の挿す櫛（爪櫛：ユツマグシ・ツマグシ）に使う神聖な木。このユツがユス・イスに転訛したとの説がある。

葉 〈全体〉長さ 4～9 cm、幅 2～3.5 cm の長楕円形。革質。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉5～10 mm。 〈基部〉くさび形。

〈葉先〉円いまたは鈍く尖る。

〈縁〉全縁。

備考 成葉は中間。

出典 1 4